

〔大正六年職員ニ関スル書類庶務掛〕

『写真月報』第二十二卷第五号にも記事が掲載されているが、それによると臨時写真科では材料商の出品も求め、各専門の方面に交渉して展示品を集め、製版科も協力して準備を進め、初日五十人、二日目六百人、二日目千人以上の観覧者があったという。

⑤ 森田亀之助を助教授に起用

大正六年六月三十日、助手(英語および西洋美術史授業担当)であった森田亀之助は助教授に任命された。森田は明治三十九年本校西洋画科卒業後履(無給助手)となり、同四十二年より大正三年までバーナード・リーチのもとで英文美術・文学書や英会話を学んだ。任命関係文書中に次のような事業歴が記されている。

履歴書(事業ノ部)

森田亀之助

- 一 明治四十二年ヨリ大正四年マテ美術新報ノタメニ英文ノ書籍及雑誌ニ依リテ海外藝術界状勢及畫家列傳ヲ寄稿ス
- 一 大正三年ヨリ同四年マテ主トシテアメリカン・アート・ニュースニ依リ美術週報ノ海外消息欄ヲ擔當執筆ス
- 一 明治四十三年及大正三年ノ二回東京美術學校一覽ヲ英譯ス
- 一 大正四年十一月セレクションス・フォア・アート・スチュ
ーデント(美術学生用英文教科書)ヲ編纂ス
- 一 大正四年英文ノ書籍及雑誌ニ依リ歐洲畫界最近状勢ヲ報告ス
ルタメ「藝術家ト藝術運動」ト名ツクル著書ヲナス

第三項目の東京美術學校一覽の英訳とは、Tokyo Bijutsu Gakko The Imperial School of Art, Ueno Park, Tokyo, 1910 年とTokyo Bijutsu Gakko The Tokyo School of Art, Ueno Park, Tokyo, 1915をさす。

⑥ 大正六年度入試問題

大正六年四月十六、十七日の『読売新聞』に(甲)(乙)に分けて掲載されている。

入學試験問題

▲東京美術學校(乙)

(豫科、製版、寫眞、師範各科共通の分)

- ▲日本畫科 寫生、『菜の花』(鉛筆畫、毛筆畫の内隨意)
- ▲西洋畫科 臨寫、石膏製胸像(木炭畫)
- ▲彫刻科 模作、石膏製顔面(塑造)(以上共通以下各科別)
- ▲圖案科第一部 寫生、桃の花及黃水仙(毛筆畫鉛筆畫の内隨意)
- 圖案縦一尺、横一尺三寸の菱形内中央に直径六寸の圓を描きたる各形状内に草花アネモニーを以て適宜模様を作るべし(地色共五色のこと)
- ▲圖案科第二部 寫生、『あをき』(鉛筆畫毛筆畫の内隨意)
- ▲金工、鑄造、漆工科 寫生、『うと』と『くわゐ』(鉛筆畫、毛

筆畫の内隨意)

▲製版科、寫眞科 寫生、圖案科第二部に同じ

▲師範科 寫生、椿(鉛筆畫、毛筆畫の内隨^{〔イ〕}) 圖案、菓子皿(徑

凡七寸に春の花(隨意) 模様を附す)

師範科の註

▲英語 (二時間)

ENGLISH INTO JAPANESE

1. Think before you speak, pronounce not imperfectly, nor bring out your words too hastily, but orderly and distinctly.

2. You must study to be frank with the world; frankness is the child of honesty and courage.

3. To do something, however small, to make others happier and better, is the highest ambition, the most elevating hope, which can inspire a human being.

▲和文英譯

1. 私の兄は海軍士官であるが弟は美術家である。

2. 青年は將來に向つて大なる希望を持たなければならぬ。

3. 上野公園には博物館、動物園、音楽學校及美術學校があるが又春秋には各種の展覽會が明かれる。

DICTATION

AUTUMN.

Now the leaves begin to fade and take on lovely colours.

brown, and yellow, and burning red. Then a high wind comes, and one by one the pretty leaves blutter slowly down to the ground.

Soon the trees will be bare, thick mists will fill the air, and the world will look grey and still

▲歴史 (二時間)

一、大化改新

二、宋代の文化

三、左項に就き略述せよ

1、空 海 2、徳川 吉宗

3、日英同盟 4、義和團

5、曾國藩 6、十字軍

7、モンロー主義 8、ウイーン會議

▲作文 (三時間)

圖書師範科入學志望に就て(文語文楷書片假名にて淨書すべし)

▲用器畫法 (四時間)

一、圓周上の定點に於て定圓に接し且つ定直線に接する圓を畫け

二、長軸三寸短軸二寸の橢圓を畫け

三、底面の一邊一十二分軸線四寸の正六角錐の一斜面が平畫面に垂直にして立畫面と四十五度をなすときの投影圖を求む

四、平畫面上に直立せる圓柱と軸線が兩畫面に平行せる方柱とが互に其軸線の中點に於て相交るとき相貫圖を求む

但し圓柱は底面の半徑軸線三寸、五分、方柱は端面の正方形の

對角線一十八分軸線四寸にして方柱の側面は平畫面に傾斜するものなり

五、菱形、正五角形、及び圓形を基とする幾何的模様を畫す

入學試驗問題

△東京美術學校(B)

(製版科、寫眞科)

▲英語

英文和譯

- (1) What an absurd proposal to make a collection of copies of the masterpieces of foreign galleries. Fine photographs would give a far truer impression of them.
- (2) Art is about the only occupation in which people can do what they please without consulting their neighbours.
- (3) If architecture was born of need it soon should some magic quality, and all true building touches depths of feeling and opens the gates of wonder.
- (4) Stand beside the railroad track at night, under the stars, and watch a brilliantly lighted passenger train sweep by, and you feel up and down your back a shiver closely akin to that you experience in the presence of some masterpiece of art.

▲英作文 (一時間半)

各自其志望せる専門學術に關して意見なり、或ひは將來の抱負なりを英文にて簡單に記せ

但し^[1000]章の長さは四行を超過すべからず

▲數學 (二時間)

- (1) 5%の硝酸銀水溶液 120 瓦に何瓦の硝酸銀を追加すれば20%の溶液を得べきか
- (2) 一邊 e 尺なる正方形の四隅を切り落して得たる正八角形の面積を求む
- (3) 對數の意味を説明し且 $e \log x = e \log a \cdot \log x$ なることを證明せよ
- (4) $\sin(A+B) - \sin A = 2 \sin \frac{B}{2} \cos(A + \frac{B}{2})$ を證明せよ

▲物理學 (二時間)

- (1) 重さ50噸の砲より800 封度の彈丸が毎秒1400呎の速度を以て水平面に30°の角度をなして發出する時は水平面における砲の後退速度幾何なるか。但し1噸は2240封度なり
- (2) 10°C間の温度を有する氷塊を次第に熱して110°Cに至らしむる際に生ずる容積並びに状態の變化を述べよ
- (3) 組合はす時は色消しレンズを作る凹凸二個のレンズあり、今レンズの軸に平行なる白色光線が(1)凸レンズのみに當る時(2)凹レンズのみに當る時及び(3)組合せレンズに當る時の各々の場合に就て白光中の紫光線及び赤光線の通路を圖示せよ
- (4) 電流及び電位とは何ぞ 電流の強さ及び電位の差は如何にして測るか

▲物理學 (1時間)

(一) ハロゲン元素の常温に於ける状態と其の銀化合物に就て知る所を記せ

(二) 昇華百分の一「モール」水溶液五〇立方センチメートル中にある水銀の重要を示せ

但し水銀の原子量二〇〇、鹽素の原子量三五、五とす

(三) 次の詞の意義を説明せよ

硬水、乾溜、蒸溜、還元、鹽化

昇華、潮解、風化、熱離、電離

(四) 左の化合物の分子式を記せ

(イ) 蟻酸 (ロ) 醋酸 (ハ) エーテル (ニ) アニリン (ホ) グリ

セリン (ク) エタン (ト) フォルマリン (チ) クロ、ホルム

▲自在畫 (四時間)

静物寫生 (鉛筆畫水彩畫及び毛筆畫の何れによるも隨意とす)

▲用器畫法 (三時間)

(1) 圓に内接する正五角形を描け。

(2) 正六角柱 (高さ一寸五分端面の一辺六分) あり底の一角に於て水平面上に立ち具軸同面に 30° 傾斜し而して一脇面は直立面に平行なり 其対象圖を求む。

(3) 正方錐と圓柱との相實體の対象圖を求む。

但し正方錐は底の一辺直立面に 45° をなして水面平上に直立し圓柱の軸は錐体の軸と互に中央に於て直交し且兩畫面に平行なり。

(兩立体の大きさは任意とす)

⑦ 柱人社

本校校友会文学部の短歌会同人が、展覽会をやるうと大正四年春に結成したのが黒耀社であるが、その活動を通じて知りあつた若い工芸家六人で大正六年六月に結成されたのが「柱人社」である。六人の同人は、發起人となつた高村豊周、広川松五郎、小倉淳の三人に、堀義二、斎藤佳三、原三郎であつた。

「柱人社の展覽会は、大正七年に神田小川町の流逸荘でやつた。流逸荘というのは、仲省吾が経営した当時の尖端をいつた美術店で、その名前は小川町の地名に因んで岩村先生がフランス語を振つて流逸荘とつけたものだ。陳列品も凝つたものだし、お客も趣味の洗練された人が良く集まつた。この店は大正十二年の大震災に焼けるまで続いたが、流逸荘のお客が柱人社に非常に同情してくれて、よく作品を買ってくれた。金子良吉、芝川照吉、これは当時の知名の実業家だが、夫人や子供連れでよく買物にみえた。貴族院議員の伯爵で統計学の權威だつた柳沢保恵も来た。黒田清輝先生も夫人と一緒にみえて、いつも何かしら買物をして下さつた。岩村先生が激励に来られたのも勿論である。この時分から既に気がついていたのだが、我々の展覽会に来てくれるのは油絵や彫刻の人が多くて、肝心の工芸家の先輩は殆んど見に来てくれなかつた。我々の行動を異端視していたのかもしれない。」

(高村豊周著『自画像』)